

令和5年度 児童発達支援自己評価表（事業所）

公表：令和6年3月21日

児童発達支援センター とさっちくらぶ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		環境を構造化してわかりやすく配慮している 令和5年4月よりセンターとして立ち上げ、今のところスペースは十分とれている。 部屋の広さで活動内容を調整している。
	2	職員の配置数は適切であるか	○		職員の配置や職種は充実しているため、より専門性を高めたい 今年度より理学療法士、作業療法士、臨床心理士を加え、サービスの向上を図っている。 お子さんの安全を考え配置数を調整している。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		絵カード等のイラストを用いてわかりやすく対応している 新しい施設ではスロープに加え、廊下を広くするなど車いすでの移動にも配慮した。 カード等で視覚支援を行うことで、分かりやすいよう環境設定をおこなっている スケジュールカードなどで見通しを持ちやすくしている。 年齢や発達段階、特性に応じて環境構成を考えている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		利用後のアルコール消毒だけでなく、外部委託して施設の掃除も行ってもらっている トイレ（洋式）や手洗い場のサイズが、高学年になると小さい。待合い廊下が夏は暑く、冬は寒い。 支援の間で掃除用具を用いて清掃活動に努めている 換気。支援後の室内の掃除、消毒など。 支援終了時に掃除するようにしている
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		カンファレンスを定期的に行っている カンファレンスや委員会を定期的に行い、情報の共有化や専門性の活用に努めている。・ミーティングを実施している。 カンファレンス等で、全体で把握できる機会があり、共通認識が持てていると思う。 カンファレンスを行い目標などを確認している
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		評価表を用いて、職員で情報共有している
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○		外部機関から定期的に療育等のスーパーバイズを受けている 療育センターなどからスーパーバイズを受けている
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		年間計画や専門性に応じて受講している 職員研修や勉強会への参加にも努めている 私自身は、まだ研修への参加が少ないので、色んな研修に参加して、学んでいきたいと思う。

適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○	医学的な評価と保護者のニーズ等を合わせて作成している 発達検査、知能検査、運動機能検査など行っている。 カンファレンスや支援後の報告、話し合い、カルテ等で、共通認識ができるようにされていると思う。 医療機関の受診時など定期的を実施している
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○	医療機関で用いる評価は一通り実施できるように対応している アセスメントツールの理解が自分自身まだまだなので、勉強していきたい。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○	子どもの特性や状況により変動はあるが意識して実践している 勉強不足なので、児童発達支援ガイドラインを学びたいと思う。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○	定期的カンファレンスを行っている 支援に入る前に、カルテの計画書に目を通すようにしている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○	専門性に応じて作成し情報共有しながら行っている。カンファレンスや委員会を定期的に行い、情報の共有化や専門性の活用に努めている。ミーティングを実施している。専門的知識、子どもの姿等、分からないことは相談し、1人で偏った支援にならないように気をつけている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○	興味・関心に合わせて楽しく活動できるように支援グッズ等を作成している。 カンファレンスや委員会を定期的に行い、情報の共有化や専門性の活用に努めている。ミーティングを実施している。多職種が情報共有に努めながら強みもいかした支援に取り組んでいる。カルテを見て、今までの活動プログラムを見ながら、子どもの姿に応じて、考えるようにしている。各職種が順番に関わることで様々な面からアプローチできるようにしている。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○	少しずつ集団支援が実施できるようにプログラムや体制を組んでいる 個別だからこそできる支援と集団だからこそできる支援があると思うので、偏らないように、その子の姿に応じて、個別と集団のバランスがとれると思う。 就学前には集団活動を多く取り入れるようにしている
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○	適宜、情報交換している カルテやミーティングにより各職種の専門性を共有できるように努めている。 事前に支援の計画、流れの話し合いに努める 一緒に入る支援員とその日の支援のねらい等共通認識できるよう確認するようにしている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○	簡単な振り返りを行ったり、カンファレンスで情報共有している 支援後に良かった点、課題や改善点を話し合い共有している 子どもの姿や、支援内容、反省点、課題など、話すようにしている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○	カルテを書いて、もう一度自分の支援を振り返り、疑問や反省点等は、周りの支援員に相談するようにしている
20	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○	定期的カンファレンスを行っている	

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○	時間やスケジュール管理を行い、対応している
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○	担当者会等に積極的に参加し、保育園等の職員と連携を図っている
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		対象児がいない 医療機関と情報共有できるようにしているが、現在医療的ケアが必要な子どもの利用がない
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		対象児がいない 医療機関と情報共有できるようにしているが、現在医療的ケアが必要な子どもの利用がない
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○	就学前やサービス終了時には情報提供など行っている カンファレンスやカルテ等で、共有した情報を聞き、把握できるようにしている。 担当者会などでの情報共有を行っている
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○	サービス終了時には情報提供など行っている 担当者会などでの情報共有を行っている
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○	定期的に助言を受けている 助言を受けた支援員からの報告で、内容を知ることができ、勉強になっている。 療育福祉センターの研修会に参加したり、スーパーバイズを受けている
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○	利用者のニーズに応じて検討したい 機会があれば、定型発達の子どもの姿も知れていいと思う。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○	担当スタッフが参加している
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○	定期的に保護者と話し合う機会を設けている。意識して行っているが十分ではないと感じる。好きな遊びの時間等に、その日の支援の中で、伝えたい様子や、保護者の気持ちを受け止めながら、課題をともに考えていけるよう努めている。支援時間中に支援内容などについて話をするようにしている。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○	土佐市と共催して年2回開催している ペアトレの勉強不足で、私自身はできてない。ペアトレの勉強をしたい。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○	読み合わせを行い、確認している
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○	面談を行いながら対応している

保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		日程調整を行い対応している
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	保護者会は設けていないが、必要に応じて保護者同士を繋いでいる
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		その場で対応できないことも、報告・連絡に努めて次回までに対応できるよう共有する
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		Instagramで簡単に報告している ホームページ等がある。 Instagramの活用でより周知していただけるよう工夫している
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		臨床研究等は同意書を作成した上で対応している
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		分かりやすく、伝わるような声かけを意識している。 視覚支援などを行っており、保護者にも説明している
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	ニーズに応じて検討したい
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		年間計画や定期的な委員会活動で報告等を行っている
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		色々な状況下を想定した訓練が行えるといいと思う
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		適宜、保護者に確認している その面に関して、自分の確認が足りてなかったため、これから、カルテ等で把握していきたいと思う。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		保護者に確認の上、対応している 保護者を通して確認している
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		その都度、報告や情報共有を行っている。報告書類は提出している 何かあったときには、すぐに話し合いが行われ、次の防止へつながっていると思う。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		委員会等で、定期的に振り返りがあり、自分自身の行動を見直せる機会になっている。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		契約時にも説明等を行っている